

令和3年1月 全国百貨店売上高概況

令和3年2月25日

I. 概況

1. 売上高総額	3,265億円余
2. 前年同月比	-29.7% (店舗数調整後/16か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	73社 196店 (令和2年12月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,045,674㎡ (前年同月比:-3.9%)
5. 総従業員数	59,480人 (前年同月比:-6.4%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	6-8月 -20.4%、7-9月 -25.6%、8-10月 -20.5%、 9-11月 -17.8%、10-12月 -10.8%、11-1月 -18.6%

[参考] 令和2年1月の売上高増減率は-3.1% (店舗数調整後)

【特徴】

1月の売上高は29.7%減と、前月(13.7%減)より16.0ポイントダウンした。年明けに11都府県に再発出された「緊急事態宣言」により、対象地区所在店舗で実施した営業時間短縮や、主要顧客である高齢層の外出自粛などが集客(入店客数約40%減)に大きく影響した。一方、株高を背景に、付加価値の高いラグジュアリーブランドや、宝飾品・高級時計など高額品は堅調だった。また、EC売上は各社の積極的な施策も奏功し大幅に伸長している。

顧客別では、インバウンド売上高は、入国規制継続から87.4%減(39.9億円/12か月連続/シェア1.2%)と引き続き低水準で推移している。国内市場は25.5%減(3か月連続/シェア98.8%)と、15.5ポイントダウンした。

地区別では、地方は23.2%減(10都市以外の地区/3か月連続)、緊急事態宣言対象地区の多くが含まれる大都市は32.1%減(10都市/16か月連続)となり、その差(8.9ポイント)は、前月よりさらに1.4ポイント広がった。

主要5品目については、客数減が響き全て二桁減となった。各社では、例年賑わう初商において三密回避の観点から来店を抑制するため、福袋の予約販売やネット販売強化など様々な補完施策を行ったが、特に衣料品を中心としたファッション商材は、クリアランスの前倒しもあり苦戦した。半面、「イエナカ消費」「巣ごもり需要」から、家具、調理家電、テーブルウェア、寝装品、精肉、和洋酒などには動きが見られた。バレンタイン商戦については、ECサイトによる先行販売や限定品が好評。急伸するEC売上が牽引し健闘している。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「1月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
◇全国的に上旬の気温は低く、下旬は高く、変化が大きかった。東日本日本海側では降水量はかなり多く、記録的な大雪となった所もあった。日照時間は西日本日本海側でかなり多かった。
- (2) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 -0.1日)
- (3) 土・日・祝日の合計 12日 (" +2日/土曜・日曜各1日増)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数106店舗)
①増加した: 2店、②変化なし: 7店、③減少した: 97店
- (5) 1月歳時記 (初売り、クリアランス) の売上 (同上/有効回答数81店舗)
①増加した: 3店、②変化なし: 9店、③減少した: 69店

全国百貨店 売上高速報 2021年1月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	326,510,176	100.0	-29.7 (-30.6)
10都市	228,383,996	69.9	-32.1 (-32.3)
札幌	8,709,374	2.7	-38.8
仙台	5,226,670	1.6	-22.0
東京	85,616,807	26.2	-33.8
横浜	20,684,067	6.3	-28.2
名古屋	21,647,965	6.6	-30.2
京都	13,254,060	4.1	-33.0
大阪	46,696,960	14.3	-31.5
神戸	8,102,281	2.5	-20.6 (-27.2)
広島	6,829,266	2.1	-36.8
福岡	11,616,546	3.6	-34.1
10都市以外の地区	98,126,180	30.1	-23.2 (-26.2)
北海道	867,033	0.3	-22.9
東北	4,469,352	1.4	-22.2 (-24.6)
関東	43,654,781	13.4	-23.2 (-25.3)
中部	6,971,839	2.1	-24.6 (-34.7)
近畿	15,032,207	4.6	-15.5 (-19.2)
中国	7,881,236	2.4	-21.4
四国	4,758,081	1.5	-29.4 (-39.4)
九州	14,491,651	4.4	-28.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	326,510,176	100.0	-29.7 (-30.6)
紳士服・洋品	20,579,784	6.3	-41.9 (-42.6)
婦人服・洋品	60,200,818	18.4	-40.5 (-41.3)
子供服・洋品	6,136,632	1.9	-38.2 (-38.9)
その他衣料品	6,741,772	2.1	-26.5 (-27.5)
衣 料 品	93,659,006	28.7	-39.8 (-40.7)
身のまわり品	46,858,200	14.4	-31.9 (-32.8)
化粧品	26,431,553	8.1	-38.1 (-38.6)
美術・宝飾・貴金属	23,133,107	7.1	-10.1 (-11.1)
その他雑貨	12,396,103	3.8	-19.1 (-20.3)
雑 貨	61,960,763	19.0	-26.0 (-26.8)
家 具	3,223,364	1.0	-16.0 (-17.1)
家 電	1,475,196	0.5	63.7 (63.6)
その他家庭用品	9,723,838	3.0	-20.5 (-22.1)
家 庭 用 品	14,422,398	4.4	-15.0 (-16.5)
生 鮮 食 品	17,463,438	5.3	-13.1 (-14.1)
菓 子	26,468,030	8.1	-21.3 (-22.6)
惣 菜	20,114,264	6.2	-22.1 (-23.0)
その他食料品	27,210,971	8.3	-17.6 (-19.0)
食 料 品	91,256,703	27.9	-18.9 (-20.1)
食 堂 喫 茶	5,749,130	1.8	-51.0 (-51.5)
サ ー ビ ス	3,379,303	1.0	-21.7 (-22.6)
そ の 他	9,224,673	2.8	-12.3 (-12.7)
商 品 券	4,823,231	1.5	-24.4 (-25.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | | |
|------------------|--------|---------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -32.1% | (店舗数調整後/16か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -23.2% | (店舗数調整後/3か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-32.1	-23.3	16か月連続マイナス
札幌	-38.8	-1.2	12か月連続マイナス
仙台	-22.0	-0.3	3か月連続マイナス
東京	-33.8	-9.4	16か月連続マイナス
横浜	-28.2	-1.8	3か月連続マイナス
名古屋	-30.2	-2.0	3か月連続マイナス
京都	-33.0	-1.4	16か月連続マイナス
大阪	-31.5	-4.6	16か月連続マイナス
神戸	-20.6	-0.5	3か月連続マイナス
広島	-36.8	-0.9	12か月連続マイナス
福岡	-34.1	-1.3	16か月連続マイナス
10都市以外の地区	-23.2	-6.4	3か月連続マイナス
北海道	-22.9	-0.1	12か月連続マイナス*
東北	-22.2	-0.3	12か月連続マイナス*
関東	-23.2	-2.8	3か月連続マイナス
中部	-24.6	-0.5	3か月連続マイナス
近畿	-15.5	-0.6	3か月連続マイナス
中国	-21.4	-0.5	3か月連続マイナス*
四国	-29.4	-0.4	16か月連続マイナス
九州	-28.2	-1.2	16か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、衣料品、食料品が16か月連続、身のまわり品、雑貨、家庭用品が3か月連続と全品目がマイナスとなった。その他の品目は、家電が2か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-29.7	—	16か月連続マイナス
紳士服・洋品	-41.9	-3.2	16か月連続マイナス
婦人服・洋品	-40.5	-8.8	16か月連続マイナス
子供服・洋品	-38.2	-0.8	3か月連続マイナス
その他衣料品	-26.5	-0.5	3か月連続マイナス
衣料品	-39.8	-13.4	16か月連続マイナス
身のまわり品	-31.9	-4.7	3か月連続マイナス
化粧品	-38.1	-3.5	12か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-10.1	-0.6	4か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-19.1	-0.6	3か月連続マイナス*
雑貨	-26.0	-4.7	3か月連続マイナス
家具	-16.0	-0.1	3か月連続マイナス
家電	63.7	0.1	2か月連続プラス
その他家庭用品	-20.5	-0.5	3か月連続マイナス
家庭用品	-15.0	-0.5	3か月連続マイナス
生鮮食品	-13.1	-0.6	27か月連続マイナス*
菓子	-21.3	-1.5	12か月連続マイナス*
惣菜	-22.1	-1.2	16か月連続マイナス*
その他食料品	-17.6	-1.2	16か月連続マイナス*
食料品	-18.9	-4.6	16か月連続マイナス
食堂喫茶	-51.0	-1.3	16か月連続マイナス
サービス	-21.7	-0.2	11か月連続マイナス
その他	-12.3	-0.3	3か月連続マイナス
商品券	-24.4	-0.3	119か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>